



辻 真理子議員

Q 令和7年度一般会計当初予算案における市税の増減は

A 個人市民税・法人市民税・固定資産税等は増収の見込み



Q 市税収入のうち個人市民税増収見込額と内訳は。

A 全国的に給与所得が上昇傾向にあることから、所得割について約2億円の増収を見込み、前年度当初予算と比較して、2億329万7千円、率にして3.4%の上昇を見込んでいる。

Q 法人市民税額の大幅増収（32.9%）の理由は。

A 令和6年度に大幅増収となった主要法人において、短期的に見て大幅な減収リスクが低いことなどから、前年度当初予算と比較して5億237万6千円の増収を見込んでいる。

Q 固定資産税の増収額の理由は。

A 土地は地価の下落を反映し0.2%の減収、家屋は新築分を上乗せして7.5%の増収、償却資産は大規模な工場建設等により4.3%の増を見込み、全体として4.7%、3億5,760万1千円の増収を見込んでいる。



▲市役所本庁舎



疋田 菜穂子議員

Q 彦根市における狂犬病対策の現状は

A 獣医師会等の関係機関と連携し狂犬病予防注射の啓発を行っている



その他の質問

- ・本市における子宮頸がんワクチンのキャッチアップ接種状況および公費負担による接種期間の延長について

Q 狂犬病予防注射の接種率と接種しない場合の弊害は。

A 令和5年度の彦根市の接種率は約60%であり、県内では約66%である。狂犬病予防注射は法で義務付けられており、罰則がある。狂犬病予防注射の接種が証明できない場合、犬を連れて行けない施設などもある。

Q 狂犬病予防注射の接種率向上の取組は。

A 市内の獣医師にご協力いただき、毎年4月から5月の間に集合注射を実施しており、飼い主にはハガキを送付して案内している。また、彦根市と近隣4町のほか滋賀県獣医師会等で構成する愛知犬上彦根狂犬病予防推進協議会では、狂犬病予防注射の啓発物品を作成し、配布している。今後も関係機関と連携し、啓発等を行っていきたいと考えている。



▲狂犬病予防注射啓発スローガン



黒澤 茂樹議員

Q 国スポ・障スポ開催後の取組、レガシーづくりは

A スポーツの振興や地域経済活性化に寄与する取組を進める



その他の質問

- ・中学校における部活動（運動部・文化部）の現状について
- ・健康寿命を延ばすため個人が取り組むべきことについて

Q 国スポ・障スポ開催後の取組、レガシーづくりは。

A 国スポ・障スポ開催にあたり、平和堂H A T OスタジアムやプロシードアリーナH I K O N E等の施設整備を行うとともに、陸上競技、ハンドボール、弓道、なぎなた等の各競技団体とも数年にわたり準備を進めてきた。こうした施設整備や取組を一過性のものにならないためにはレガシーが必要であると考えている。

具体的には、国スポ・障スポの開催状況も踏まえ、何をレガシーとするかは考える必要があるが、本市開催競技だけにこだわらず、市が進めているJリーグ誘致も含め、ハード面のレガシーである平和堂H A T OスタジアムやプロシードアリーナH I K O N Eを有効活用し、スポーツの振興や地域経済の活性化に寄与するものに力を入れていく。



▲アリーナ正面大階段



安澤 勝議員

Q 外来植物メリケントキンソウ撲滅対策と今後の見通しは

A 3月下旬までにグラウンド全体へ高濃度尿素液を散布し防除を行う



その他の質問

- ・学園の児童生徒数を増やすために新たな特色を創出すべきと考えるが見解は
- ・学校外機関つまり民間施設への公的支援が必要では

Q 鳥居本中学校グラウンドの外来植物メリケントキンソウの現状は。

A 令和6年5月に繁茂していることを確認した。芝刈機では対処できず、個体数も多いことから手作業での除草も困難。

Q 撲滅対策と今後の見通しは。

A メリケントキンソウを枯らし芝への肥料効果も期待できる高濃度尿素液を散布する。昨年11月に試験散布を行い一定の効果があつたので、3月下旬までにグラウンド全体へ散布し防除を行う。

Q 芝生グラウンドのメンテナンスは必要では。

A 芝を枯らすことなく一定のメンテナンスを行っていると考え。専門業者への委託は困難だが、砂塵の抑制や怪我の防止といった芝生化の効果を享受できるよう、適切な維持管理に努めていく。

Q 鳥居本学園の児童生徒数の推移予測は。

A 令和12年度には小学生47人、中学生36人。計83人と予測している。学区外は含まれていない。



▲外来植物が繁茂する鳥居本中学校の芝生グラウンド



野村 博雄議員

Q 俳句文化の護持・発展へ一層の取組が必要では

A 様々な事業実施やサークル・施設の紹介、インターネットの活用等も検討する



その他の質問

- ・下水道管の維持管理は
- ・雪対策は
- ・歯科保健への取組は
- ・JRのみどりの窓口廃止等への対応は
- ・市役所の電話の録音について

Q 本市に縁の深い俳句文化の護持・発展へ、取組の推進は図れているか。

A 俳句を含めた文芸活動の振興のため、夏休み文芸ワークショップや市民文芸作品事業を実施している。また施設と調整できれば一時的な俳句等の文芸コーナー等の設置もできる可能性もある。

Q 俳句文化の拠点の確保や情報発信等一層の取組が必要では。

A 俳句を学びたい方があれば公民館のサークル等を紹介したり、発表会を実施したいという団体からの要望等があれば施設を紹介する等の取組を進める。また現状特定の施設の確保には至っていないが、本市の電子申請サービスを活用したインターネット上での投句や句会、インターネット等を活用した幅広い情報発信等も検討していく。



▲夏休み文芸ワークショップでの吟行の様子



中川 睦子議員

Q 路線バス運賃は4月から値上げの予定だが、理由と経緯は

A 今後も安全・安心な路線バス運行を維持継続していくための運賃改定



その他の質問

- ・子どもセンターの運営について
- ・3施設一括の事業運営について
- ・愛のりタクシーと免許返納者支援について

Q 4月から値上げの予定だが、理由と経緯は。

A コロナ禍と諸物価の高騰で運行している事業者の収入減少により収支が悪化。また、乗務員不足等の問題も顕在化。今後も安全・安心な路線バス運行を維持継続していくための運賃改定。

Q 利用者への聞き取りアンケートに時間をとったのか。

A 令和6年11月25日から約1か月間意見公募をした。

Q 値上げによる市民のメリット・デメリットは。

A メリットはバス運行の課題の解決の一助になり、デメリットは利用者負担増となる。

Q バスが停めやすく、高齢者や車椅子の方も安心して乗降しやすい整備が必要では。

A 全ての利用者が乗降しやすく、バスの安全を確保するための対応を行っている。

Q バス停に屋根や腰掛、荷物置きが必要では。

A 設置の余地がない場所も多く、予算の状況から新設できていないが、整備の可能性について検討を進める。



▲くすのき通りの停留所